

目 次

はじめに

I.自治体GIS

自治体GISの歴史	3
県民・市民・町民のためのGIS	11

II.自治体GISの今

県・市町村連携による統合型GIS整備	19
岐阜県における統合型GISの取り組み — 県域統合型GIS —	19
三重県GISと共有デジタル地図について	23
京都府・市町村共同による統合型GISの取り組みについて	28
県レベル	33
WebGISで目指す住民参加型の地域マネジメント（島根県）	33
東京都都市整備局の都市計画GISの取り組み	38
政令都市レベル	43
横浜市におけるGISの展開	43
GISによる分かりやすい都市計画情報の提供（札幌市）	48
特別区レベル	53
北区の空間情報構築の10年と次世代展開へ向けて	53
世田谷区におけるGISの利用について	58
市レベル	64
社会基盤へと進化する統合型GISの可能性（浦安市）	
— 10年間の取り組みを振り返って —	64
基準点から出発したGIS（豊中市）	72
業務改善から始まったGIS — 津山市GISの紹介 —	78
製品仕様による共用空間基盤から	
地域が参加できるウェブGISへ（富田林市）	82
掛川市土地情報システムの経緯と展望	88
市原市のGISへの取り組み	93
真の住民のための自治体GIS（西宮市）	97
コミュニケーション型GISで見えてくる地域の再発見（八代市）	104
横須賀市の統合GIS普及に向けた取り組み	107
地籍GISから統合型GISを構築し、	
既存データの共有と横断的利活用を推進（北見市）	112
門真市の個別GISによるデータ蓄積と統合型GISへの取り組み	118
金沢市のGISへの取り組み	122
フリーソフトウェアによる業務の効率化、ただでここまでできる（直方市）	127
高槻市におけるGISの利用について	131
日常業務に密着を目指したGIS整備への取り組み（尼崎市）	135
町レベル	139
北海道池田町におけるGIS利用について	139
包括的レベル	142
地理空間情報活用推進基本法と地方公共団体の役割（市川市）	142

III.自治体GISの今後

GISの新たな動き	149
自治体GISの今後（Web座談会）	155